

第2学年国語科学習指導案

単元名 「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう

教材名 「しかけカードの作り方」ふるうち ひかる（光村図書 小学校2年下）
「おもちゃの作り方」（光村図書 小学校2年下）

1 単元について

(1) 児童観

児童はこれまでに、「たんぼぼのちえ」と「どうぶつ園のじゅうい」の2つの説明的な文章の学習をしている。そこでは、書かれていることを表にまとめることで順序を捉えながら読んだり、自分の経験と結び付けて感想をもちながら読んだりしてきた。また、「今週のニュース」「かんさつ名人になろう」「お話のさくしゃになろう」「友だちのこと、知りたいな」で観察文、創作文、紹介文など様々な形式で書くことを学習している。しかし、分かりやすく説明する文章を書いた経験はまだない。

(2) 教材観

本単元は、「読むこと」領域の「しかけカードの作り方」と「書くこと」領域の「おもちゃの作り方」の2つの教材を関連付けて構成する。言語活動として、おもちゃの作り方を説明する文章である「なるほどせつめいカード」を友達に向けて書くという活動を設定し、分かりやすい説明の仕方を学ぶために教材を読んでいく。

「しかけカードの作り方」では、分かりやすく説明するためにどのような工夫を用いて書かれているかを読み取っていく。完成したしかけカードが最初のページに写真で掲載されており、児童の作ってみたいという意欲を喚起付ける提示になっている。

本文は、〈はじめの文〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈つかい方〉の項目に分けて説明がなされている。また、順序を表す言葉が使われていること、大きさや長さなどの具体的な数値を用いていることや数字や絵・写真が使われていること、作るときに気を付けることや使い方が書かれていることが説明の工夫として挙げられる。

「おもちゃの作り方」でも、いろいろな手作りおもちゃの写真が掲載されており、児童の意欲を喚起する工夫となっている。また、本文中に線が引いてある部分があり、分かりやすく伝えるための工夫として捉えさせることができる。また、「しかけカードの作り方」では〈つかい方〉の項目が、「おもちゃの作り方」では〈あそび方〉となっている。このように、説明するものによって、ふさわしい項目に書き換える必要性にも気付かせることができる。

(3) 指導観

指導にあたっては、単元の導入部分で教師が作ったおもちゃを見せ、友達に作り方を教えようという目標を設定する。そして、おもちゃを作るには、「なるほどせつめいカード」（作り方を説明した文章）が必要になることに気付かせ、分かりやすい「なるほどせつめいカード」を書くために読む、読んだことを生かして書くという目的をもたせるようにする。

読み取りの段階では、説明をしている文章の中に用いられている工夫を読み取っていく。本単元で読み取らせる説明の工夫は次の3点である。

- ① 順序を表す言葉が使われていること。
- ② 具体的な数値や写真を用いていること。

③ 作るときに気を付けることや使い方を教える書き方が工夫されていること。

また、説明の時に使う言葉や文章表現として、自分ならどんな書き方をするか、付け加える言葉はないかなどを考えさせ、語彙を広げさせることで、「なるほどせつめいカード」を書くときにも活用させたい。

「おもちゃの作り方」では、「しかけカードの作り方」で学んだことがどのように使われているかを読み取り、そこでの説明の工夫を確認させていきたい。さらに線が引いてある部分について、違った説明の仕方ができないかを考えさせる。そして、より分かりやすく伝えるために、自分のおもちゃに合った説明の仕方が有効であることを伝える。

「なるほどせつめいカード」を書く段階では、まず、〈はじめの文〉と〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈あそび方〉の項目に分かれた構成になっていることを意識させる。また、読み取りの段階で学んできた3つの説明の工夫を取り入れて書くことを重点的に指導していく。なるべく学級全体が同じ進捗で進むように〈はじめの文〉と〈ざいりょうとどうぐ〉、〈作り方〉の途中までは一斉指導により書かせていきたい。書き進めさせる中で、間違った書き方をしている場合は個別の指導や全体指導を随時行っていく。

完成した「なるほどせつめいカード」は、友達同士で読み合い、自分の書いた文章が実際に伝わるかを確認し合わせる。また、自分が書いた文章と読み比べ、書き方の違いに気付かせたり書き方のよいところを紹介し合わせたりして説明の工夫の大切さの共有化を図りたい。

2 単元の目標

- おもちゃの作り方に関心をもって教材文を読み取り、学習したことを生かしておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとすることができる。
- 「しかけカードの作り方」で読み取った説明の工夫を生かして、「なるほどせつめいカード」におもちゃを作るための説明の文章を書くことができる。
- 「なるほどせつめいカード」を書くために、「しかけカードの作り方」の説明の工夫を読み取るることができる。
- 順序性を表す表現の意味を理解することができる。

3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・ 事物の作り方に関心をもち、教材文を読み取ろうとしている。・ 学習したことを生かして、事物の作り方を説明する文章を書こうとしている。	<ul style="list-style-type: none">・ 説明の工夫を生かして、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。 【B書くこと(1)イ】 <ul style="list-style-type: none">・ 文と文との続き方に注意し、つながりのある文章を書いている。 【B書くこと(1)ウ】	<ul style="list-style-type: none">・ 説明の工夫に気付きながら教材文を読んでいる。 【C読むこと(1)イ】	<ul style="list-style-type: none">・ 順序性を表す表現の意味を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ウ)】

4 指導と評価の計画（全9時間）

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	○ 単元のめあてを設定する。 ○ 教材文を読み，学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りおもちゃを見せ，友達に作り方を教えたいという意欲をもたせる。 ・友達に渡すための「なるほどせつめいカード」を書くという単元のめあてを示し，学習計画を立てさせる。 	<p>【関】「なるほどせつめいカード」を書くことに興味を持ち，学習計画について話し合おうとしている。</p> <p>〔ワークシートの記述内容と発言内容〕</p>
二	2	○ 教材文「しかけカードの作り方」の文章構成を読み取らせる。 〈はじめの部分〉 〈ざいりょうとどうぐ〉 〈作り方〉 〈つかい方〉	<ul style="list-style-type: none"> ・〈はじめの部分〉に話題提示があることに気付かせる。 ・説明の部分が〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈つかい方〉の項目に分かれた構成になっていることに気付かせる。 	<p>【読イ】文章の組み立てに気付きながら読んでいる。</p> <p>〔ワークシートの記述内容と発言内容〕</p>
	3	○ 「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読む。 ◆順序を表す言葉が使われていること	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中から順序を表す言葉を見付けさせる。 ・順序を表す言葉の使い方を理解させ，そのよさに気付かせる。 	<p>【読イ】順序を表す言葉を使うことのよさに気付きながら読んでいる。</p> <p>〔ワークシートの記述内容と発言内容〕</p>
	4	○ 「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読む。 ◆大きさや長さなどの具体的な数値を用いていること。 ◆写真や絵を用いていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数値を用いた説明の部分を見付けさせる。 ・写真や絵を用いている部分を見付けさせる。 ・これらを用いた説明のよさに気付かせる。 ・「おもちゃの作り方」も，同様の工夫を入れて書かれていることに気付かせる。 	<p>【読イ】数値や絵・写真を用いることのよさに気付きながら読んでいる。</p> <p>【言イ(ウ)】数量を表す色々な表現の仕方を理解している。</p> <p>〔ワークシートの記述内容と発言内容〕</p>
	5	○ 「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読む。 ◆作るときに気を付けることや使い方を教える書き方が工夫されていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・気を付けることや使い方が書いてある部分を見付けさせ，書き方の特徴に気付かせる。 ・「おもちゃの作り方」でも同様の工夫を入れて書かれていることに気付かせる。 	<p>【読イ】作るときに気を付けることや使い方を教える書き方のよさに気付きながら読んでいる。</p> <p>【言イ(ウ)】作るときに気を付けることや使い方を教える書き方を理解している。</p> <p>〔ワークシートの記述内容と発言内容〕</p>
三	6	○ 説明の工夫を使って	<ul style="list-style-type: none"> ・〈はじめの文〉〈ざいりょう 	<p>【書イ】説明の工夫を使って</p>

	・ 7 (本時)	「なるほどせつめいカード」を書く。	うとどうぐ)〈作り方〉〈あそび方〉の構成を意識させながら書かせる。 ・三つの説明の工夫を入れて書かせる。 ◆順序を表す言葉を入れる。 ◆数字や絵を入れる。 ◆気を付けることやあそび方を教える部分を入れて書く。	おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。 【書ウ】順序を表す言葉を使って、つながりのある文章を書いている。 【言イ(ウ)】「しかけカードの作り方」の学習で学んだ表現を文章の中に生かしている。 [せつめいカードの記述内容]
	8	○ 「なるほどせつめいカード」を読み合い、説明の工夫を使って書いているか確かめる。	・読み返しをする観点として3つの説明の工夫を示して作品を交流させる。	【書ウ】「なるほどせつめいカード」を読み合い、説明の工夫を使って書いているか確かめている。 [せつめいカードとワークシートの記述内容]
四	9	○ 事物を説明をしている本を読む。 ○ 単元を通して身に付いた力を確認する。	・教科書に掲載されている、事物を説明をしている本を紹介し、関心をもたせる。 ・単元を通して身に付いた力を確認させる。	【関】事物を説明している本に関心を持ち、説明の工夫に気付きながら読んでいる。 [ワークシートの記述内容と発言内容]

5 本時の指導 (6・7/9)

(1) 目標

説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○ 今まで学習したことを生かして、おもちゃの作り方を説明する文章を自分で書いていくことを知らせる。 ○ 本時のめあてを知らせる。
3つのせつめいのくふうをつかって、「なるほどせつめいカード」を書こう。	
2 3つの説明の工夫を確認する。	○ 次の3つの説明の工夫を入れて書くことを確認する。 ◆順序を表す言葉を使う。 ◆数字や絵を入れる。 ◆気を付けることや遊び方を教える書き方を工夫する。 ○ 〈はじめの文〉では、何についての説明かを書くこと、〈ざいりょうとどうぐ〉の部分は箇条書きで書くことを理解させる。

3 「なるほどせつめいカード」を書く。

〈はじめの文〉

- ・ 何についてのせつめいカードかを見じかく書く。

〈ざいりょうとどうぐ〉

- ・ かじょう書きで書く。

〈作り方〉

- ・ まとまりのはじめにじゅんじょをあらわすことばを入れる。
- ・ 数や絵を入れる。
- ・ 作るときに気をつけることを書く。

〈あそび方〉

- ・ あそぶときに気をつけることを書く。

○ 教師が用意したカードを提示し、大体のレイアウトを把握させ、〈はじめの文〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈あそび方〉の4つの項目で文章を構成することを確認する。

○ 各項目における留意点を板書とワークシートで確認する。

○ 全員がきちんと書けるように、〈はじめの文〉〈ざいりょうとどうぐ〉と〈あそび方〉の書き出しの部分までは、一斉指導で書かせる。

○ 作業が進まない児童には、一緒に考えたりあらかじめ順序を表す言葉を入れたワークシートで考えさせたりする。

評価

【書イ】

- ・ 説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。

[せつめいカードの記述内容]

【書ウ】

- ・ 順序を表す言葉を使って、つながりのある文章を書いている。

[せつめいカードの記述内容]

4 書き終えたものを読み返す。

【読み返す時の観点】

- ・ じゅんじょをあらわすことばをつかっているかな。
- ・ 数や絵を入れているかな。
- ・ 作るときに気をつけることや、あそび方が書けているかな。

○ 自分の書いた文章を読み返し、説明の工夫を使って書くことができているかを確認させる。

○ 誤字脱字や改善したいところがある場合は、書き直しをさせる。

評価

【言イ(ウ)】

- ・ 「しかけカードの作り方」の学習で学んだ表現を文章の中で生かしている。

[せつめいカードの記述内容]

5 本時の学習を振り返る。

○ 説明の工夫を使って書くことができたかどうかを振り返らせる。

○ 次時は、「なるほどせつめいカード」を読み返して、さらに分かりやすいものに仕上げることを伝え、意欲の継続を図る。